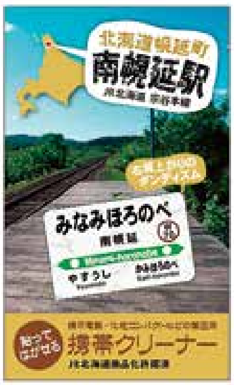
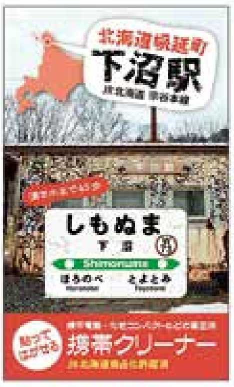
第2弾

秘境駅宣伝グッズ

昨年の7月から販売を始め、好評をいただいております秘境駅携帯クリーナーの第二弾として、「南幌延駅」と「下沼駅」を作成しました！幌延町へ来た記念として、また、ちょっとしたおみやげとして町内外のみなさんに活用していただければ幸いです。

○価　格　300円
○販売場所　幌延町役場2階総務課
企画振興グループ・問寒別出張所





◆販売に関するお問い合わせ先
総務課企画振興グループ
01632-5-1111
（内線222・223・224）

わが家のエンジェル

小林　みわちゃん

（平成27年6月1日生・宮園町9）
お父さん　昭博さん
お母さん　祥子さん

わが家の第一子みわです。「みんなの輪になれるように」という願いを込めて「みわ」と名付けました。最近は寝返りができるようになってコロコロ遊んでいます。これからも元気にすくすくと育ってね。

藤門　杏佳（きょうか）ちゃん

（平成27年6月2日生・字上幌延645）
お父さん　隆司さん
お母さん　雅子さん

とっても活発な女の子の杏佳です。元気なお姉ちゃんに負けないようハイハイをしたり、つかまり立ちをしたりと一生懸命追いかけます。ケンカは程々に仲良し姉妹に育ってね。

宮本　すずちゃん

（平成27年6月30日生・栄町6）
お父さん　和典さん
お母さん　尋美さん

わが家の第3子すずです。毎日、2人のお兄ちゃんをメロメロにする家族のアイドルです。いつも笑顔を忘れず優しい心を持つ女性になってもらいたいです。

ほろのべの裏窓

■人口減少に歯止めをかけ、潤いある生活を安心して営むことができる幌延町を築くための目標や施策等を定めた「幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を昨年3月から進め、みなさんからいただいた御意見をもとに10月に完成しました。今年度は、先駆けて家畜ふん尿を主としたバイオマス利活用に関する調査や交流人口の増加を目的に、上井観光大使協力のもとイベントの充実や鉄道関連イベント実施に取り組みました。来年度からは、さらに具体的に「産業の振興」や「暮らし良いまちづくり」に向けた施策の実施が進められます。

■幌延町総合体育館が、昨年の9月からの改修工事を終えて3月にリニューアルオープンします。来月の広報誌4月号で、改修した体育館の紹介を考えています。また、4月には建替え工事が佳境を迎えている問寒別生涯学習センターの開館が控えています。開館にあたり記念イベントの実施を予定していますので、広報誌を通してその様子をみなさんへお伝えしようと考えてはおりますが、ご都合のよろしい方は、ぜひ、足を運んでいただけたらと思います。

■インフルエンザが流行し始めているようです!!流行に敏感な面々がそろうわが企画振興グループも御多分に漏れず約半数の職員が罹患してしまいました。いつもの広報担当者もその一人で、広報誌3月号作成中、志半ばでインフルに倒れ、現在療養中です。かかりやすい人とかかりにくい人の違いは良くわかりませんが、予防接種を受けておくと比較的症状が軽く済むようです。（私は軽く済みました。）インフルエンザウイルスは感染から発症まで1～3日、解熱後も2日間くらいは、感染力があるそうです。「熱があるな」と思ったら、感染の拡大を防ぐためにも早めに受診し、療養に努めましょう。

【総務課企画振興グループ】

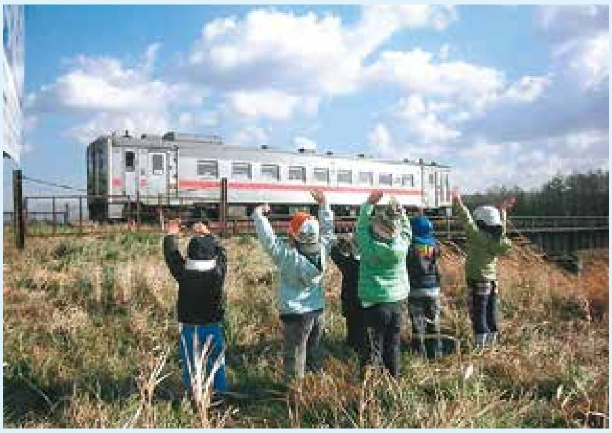
●広報誌へのご意見、ご要望をお寄せください●
総務課企画振興グループ　電話 5-1111【内線】222・223・224
告知端末機 5-8812

秘境駅の里「ほろのべ」

鉄道フォトコンテスト

カメラコースの準大賞2作品のうちの1つは、幌延町の問寒別保育所一同様の「バイバイ」が選ばれました。

【カメラコース　準大賞】



≪ バイバイ：問寒別保育所一同 様 ≫

問寒別へき地保育所の子どもたちは、保育所が線路の裏ということもあり、将来有望の子鉄ちゃんたちがいっぱい。よく保育所から列車を眺めて興奮しているとか…。子どもたちの手を振る姿に乗客も微笑んでいることでしょう。愛すべきローカル線を存分に感じられる一枚です。

まちのうごき

（平成28年1月末日現在）
※（　）内は前月比

男	1,256（－2）
女	1,190（±0）
計	2,446（－2）
世帯数	1,271（±0）

■平成28年3月　■発行／天塩郡幌延町
■企画・編集／総務課企画振興グループ☎⑤1111（224）　■印刷／株式会社須田製版
■幌延町ホームページアドレス／ http://www.town.horonobe.hokkaido.jp
メールアドレス／ zusr-som-kis@town.horonobe.hokkaido.jp

R100 この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。